

株式会社りそな銀行（金融業、保険業）

《女性のキャリアアップと両立支援の両面から「女性に支持される銀行 No1！」の達成を目指す》

◆ダイバーシティ経営の背景

- ・ 2003 年の公的資金注入後の再出発に際し「金融業」から「金融サービス業」への転換が図られた。その一環として、事務中心だった女性社員を、リテール営業の分野で自律的かつ積極的に業務に取り組む“戦力”として育成し、環境変化に柔軟に対応できる多様性のある組織を目指した。

◆取組内容

- ・ 「女性に支持される銀行 No.1 を目指す。そのためには女性が働きやすい会社にする」というトップメッセージを発信し、2005～07 年には「女性リーダー研修」を実施。ワークショップの成果を経営陣に発表する機会を設けることで、マネジメントやリーダーシップなど従来経験する機会の少なかった能力開発・発揮の場をのべ 100 名程度の女性社員に提供し、ロールモデルを輩出。同年、経営直轄の諮問機関「りそな Women's Council」を発足、これまで社員・パートナー社員転換制度の導入や「りそなパパママ会」の開催など、女性が働き続けられる職場環境の改善や多様な働き方の実現をはじめ、社員全員がイキイキ働ける職場への風土改革を目指して、検討・提言を続けており、女性管理職比率も 2003 年の 4 %から 2012 年の 16.8%まで大きく拡大している。
- ・ また、支店事務の本部への集約化による女性事務職の営業職への職域拡大は、地域密着型として個人営業に力を入れるという経営課題にも合致したものであった。本部も研修をはじめ、指導員を送るなど営業の教育をしっかりサポートしたことで、成功体験が積み、取組が軌道に乗った。

◆成果

- ・ 両立支援制度等に加え、女性管理職候補への支援や多様な業務経験のチャンスをきっかけに、女性社員のキャリア意識が高まり、モチベーションも向上した結果、女性の退職者比率が 3.4%にまで低下、ワーキングマザー比率が 2008 年以降 18.6%（2012 年現在）まで急激に上昇し、優秀な人材獲得にも寄与している。
- ・ 女性営業職の「お客さまを知りお客さまの役に立ちたい」思いが信頼を得て、「金融サービス業」を目指す同社におけるリテール部門という強みの更なる強化につながった。
- ・ 2006 年には、女性社員による商品企画・開発を行うプロジェクトチーム「私のチカラプロジェクト」を発足、投資信託や女性専用住宅ローン、医療保険などを販売し、着実に成果を上げている。

<企業概要>

設立年	1918 年	資本金	279,900 百万円
本社所在地	大阪府大阪市中央区備後町2丁目2番1号		
事業概要	預金業務、貸出業務、商品有価証券売買業務、有価証券投資業務、内国為替業務、外国為替業務等		
売上高(※)	583,262 百万円（※）直近決算期(2012 年 3 月)		

<従業員の状況（単体）>

総従業員数	15,190 人（うち非正規 5,505 人）※2012 年 9 月末現在
属性ごとの人数等	【女性】9,091 人（うち非正規 5,035 人） 女性管理職比率 16.8%（マネージャー層）・3.9%（経営層）
正規従業員の平均勤続年数	男性 19 年 女性 11.8 年